

NO. 178  
発行：墨田区議会事務局  
130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号△5608-6352  
http://www.city.sumida.lg.jp/kugikai/

すみだ  
区議会だより

主な掲載内容

●1面

●2面

●3面

●4面

●5面

●6面

第1回定例会のもよう

代表質問（自民党・公明党）

代表質問（共産党・きずな）

一般質問／決議・意見書

委員会の活動（審査した議案等）

議決した議案等と表決結果  
各会派の予算に対する意見



—春の遊歩道（旧中川水辺公園）—

平成25年度予算が成立

総額1527億1300万円

前年度比2・1%減

平成25年度  
墨田区各会計歳入歳出予算額

|             |               |
|-------------|---------------|
| 総額          | 1,527億1,300万円 |
| 一般会計        | 1,007億8,000万円 |
| 国民健康保険特別会計  | 298億6,800万円   |
| 介護保険特別会計    | 174億 300万円    |
| 後期高齢者医療特別会計 | 46億6,200万円    |

予算特別委員会委員（16人）

○瀧澤 良仁 はらつとむ

○加藤 拓 山本 亨

佐藤 篤 林 恒雄

大瀬 康介 おおこし勝広

とも 宣子 高柳 東彦

高橋 正利 田中 邦友

しもむら緑 坂下 修

西村 孝幸 広田 充男

（◎委員長 ○副委員長）

予算特別委員会のもよう

—25年度各会計予算を審査—

2月25日に正副委員長の互選を行い、その後、2月27日から3月12日までの間、延べ9日間にわたる予算特別委員会で、平成25年度墨田区一般会計予算など4件を審査しました。最終日には、各会派等が意見を述べた後、一般会計予算については、「すみだ北斎美術館については、管理運営費の更なる圧縮を図るとともに、収入の増加に全力で取り組むこと。さらには文化振興の面のみならず、観光やまちづくりにおける効果を最大限に発揮できるように努められたい。」

2月25日の本会議では、2人の議員が一般質問を行った後、「北朝鮮の核実験に抗議する決議」を含む議員提出議案3件及び区長提出議案2件を原案どおり可決しました。

3月28日の本会議最終日は、区長から提出された「平成25年度墨田区一般会計予算」を含む議案35件を原案どおり可決しました。なお、「平成25年度墨田区一般会計予算」については、付帯決議を付しました。また、「軽度外傷性脳損傷に関わる労災障害等級認定基準の見直し等に関する意見書」を含む議員提出議案2件を可決しました。

とりわけ区民の理解を得るため、全庁挙げてなお一層努力すること。」との付帯決議を付して原案どおり可決すべきものと決定し、その他の3件については、原案どおり可決すべきものと決定しました。

なお、日本共産党から「平成25年度墨田区一般会計予算の編成替えを求める動議」が提出されましたが、賛成少数で否決しました。



代表質問

区政を問う！

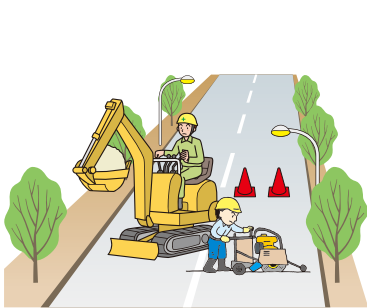
平成25年度予算の編成にあたり、後期基本計画の2年間をどのように検証したか



自由民主党  
田中 邦友

**問** ①平成25年は後期基本計画の中間年であり、区長にとっても今任期の折り返しの年である。これまでの間をどのようにに検証して、25年度予算を編成したか。②予算の見積りに当たっては、標準経費の原則5%マイナスイーリングや新たな歳入確保策の立案などを求めているが、その取組の成果を問う。③財政基盤を強固なものにするため、基金を増やすとともに、起債残高を減らすなど、財政の健全化を図る取組が今まで以上に求められるが、区長の見解を伺う。④基本計画事業の繰延べが、24年度は約3億円だったが25年度は約8億円に膨らんでいる。実効性の確保の観点から、どのように考えているか。

**答** ①それぞれの政策・施策の達成状況を検証し、遅延等があるものについてはその原因を解明した上で、着実な進捗が図れるよう努めた。②マイナスイーリングの結果としては、前年度比約3億円の圧縮などにつながった。歳入確保の面では、国の臨時交付金を確保するため、可能な限り対象事業を補正予算に前倒して計上した。③今後は公共施設の統廃合を始めとする様々な行財政改革に取り組み、



対応が重要だと認識している。このため、住民の相談等に迅速に対応できる現地事務所等を設置する。木密地域の解消は区にとって長年の課題であり、このプロジェクトによって実績と成果を出せるよう、強い意志を持って事業にあたる決意である。

●策定中である「産業振興マスタープラン」の基本的な考え方は

**問** ①東京スカイツリー開業という千載一遇のチャンスを捉え策定される「産業振興マスタープラン」の基本的な考え方を伺う。②来年度より区内循環バスのバス停が2つ増設されるが、引き続き未設置箇所の早期解消を要請する。また、区内循環バスの今後の見通しを伺う。③「両国観光まちづくりデザイン」の策定が予定されているが、地域の方や事業者が動き始めているものについては、区として早急に実効的な対応をすべきである。

**答** ①改めてまちづくりという観点も含めて、墨田区ならではの都心における産業集積のあり方、産業振興のためのビジョンを示したいと考えている。②バス停の未設置区間については、引き続き設置に向け努力する。観光客の利用が伸び悩んでいるので、様々な観光施策と一体的な事業展開を行い利用者増につなげたい。③現在、地

公共施設マネジメントシステムの導入で財政規律の確立を



公明党  
加納 進

**問** ①財政規律を確立し、中長期的な視野に立つて取り組むことの1つに「公共施設白書」がある。この白書を基に、全ての公共施設の改修等の長期計画が立てられるなど、いわゆる公共施設マネジメントが確立されることとなるが、どのようにマネジメント手法を導入して

**答** ①平成24年度に取りまとめることとしている公共施設白書を基礎資料として、25年度は、28年度の竣工予定が少しくも早まるよう努力を。

**問** ①改めてまちづくりという観点も含めて、墨田区ならではの都心における産業集積のあり方、産業振興のためのビジョンを示したいと考えている。②バス停の未設置区間については、引き続き設置に向け努力する。観光客の利用が伸び悩んでいるので、様々な観光施策と一体的な事業展開を行い利用者増につなげたい。③現在、地

**答** ①改めてまちづくりという観点も含めて、墨田区ならではの都心における産業集積のあり方、産業振興のためのビジョンを示したいと考えている。②バス停の未設置区間については、引き続き設置に向け努力する。観光客の利用が伸び悩んでいるので、様々な観光施策と一体的な事業展開を行い利用者増につなげたい。③現在、地

**問** ①改めてまちづくりという観点も含めて、墨田区ならではの都心における産業集積のあり方、産業振興のためのビジョンを示したいと考えている。②バス停の未設置区間については、引き続き設置に向け努力する。観光客の利用が伸び悩んでいるので、様々な観光施策と一体的な事業展開を行い利用者増につなげたい。③現在、地

いくのか。②既存施設の統廃合や売却等も求められる。改革を進めていく区長の決意を問う。③現基本計画の公共施設整備計画の見直しを進めるとともに、定期的に議会に報告するよう求める。④補正予算については、国の緊急経済対策の趣旨を踏まえ、新年度に速やかに公共投資の効果が見れるよう、できるだけ早い時期の契約手続等を望む。

**答** ①平成24年度に取りまとめることとしている公共施設白書を基礎資料として、25年度は、28年度の竣工予定が少しくも早まるよう努力を。

**問** ①改めてまちづくりという観点も含めて、墨田区ならではの都心における産業集積のあり方、産業振興のためのビジョンを示したいと考えている。②バス停の未設置区間については、引き続き設置に向け努力する。観光客の利用が伸び悩んでいるので、様々な観光施策と一体的な事業展開を行い利用者増につなげたい。③現在、地

**答** ①改めてまちづくりという観点も含めて、墨田区ならではの都心における産業集積のあり方、産業振興のためのビジョンを示したいと考えている。②バス停の未設置区間については、引き続き設置に向け努力する。観光客の利用が伸び悩んでいるので、様々な観光施策と一体的な事業展開を行い利用者増につなげたい。③現在、地

**問** ①改めてまちづくりという観点も含めて、墨田区ならではの都心における産業集積のあり方、産業振興のためのビジョンを示したいと考えている。②バス停の未設置区間については、引き続き設置に向け努力する。観光客の利用が伸び悩んでいるので、様々な観光施策と一体的な事業展開を行い利用者増につなげたい。③現在、地

うイベントは、スマートフォンなどの位置情報機能を使ったゲームで、プレーヤーが100万人を超え、延べ10万人以上が商店街を訪れるなど、大盛況であった。こうした手法を観光振興・回遊性の向上に積極的に活用すべきと考える。②墨田区独自の観光用アプリケーションを作成し、産業観光や危機管理などの幅広い分野にわたる戦略ツールとして導入すべきである。

**答** ①このイベントは新たな消費者を区内各店舗に呼び込み、大いににぎわったと聞いている。区内の隅々まで人を回遊させる仕組みの1つとして非常に効果的な取組であったと評価しており、一過性のものに終わらないような仕組みも含め、十分に検討したい。②ICTを活用した観光の活性化は、国際観光都市を目指す本区にとって重要な視点である。本区独自のアプリケーションの導入については、その対象や内容、効果等を総合的に検討したい。



●子育て・教育の基盤となる「すみだ子ども基本条例」の制定を

**問** ①教育委員会に対する厳しい指摘がある中、教育委員会の体質改善・改革についての決意を伺う。②本区では体罰の実態調査を行っているが、③体罰が明らかになった場合の対応は考えているか。④体罰等

に関する目安箱の設置など、予算をかけずにできる取組を早期に実施すべきである。⑤子育て・教育行政の基盤となる「仮称」すみだ子ども基本条例」を制定すべきである。⑥子育て支援と学校教育を1つの部署にした庁内組織の再編を提案する。

**答** ①今後とも委員会運営の改善・活性化に努め、山積する課題に積極的に取り組む。②全児童・生徒等を対象に調査し、3月中にまとめる予定である。③学校管理職等への聴き取りを行い、被害児童・生徒の心理的不安を取り除くためのカウンセリング等を行う。④先行事例を参考に、具体的な方法等を研究したい。⑤子育て・教育の縦割りを越えて、条例制定の必要性等を検討したい。⑥25年度中に取りまとめ、26年度には新たな体制をスタートさせたい。

**問** 道路空洞化による陥没防止対策として空洞調査を行うとともに、補修計画を立てて地域防災計画に盛り込むべき。計画的に空洞調査を行い、補修計画を作成する。関係機関と調整の上、25年度の地域防災計画の修正に反映したい。民間発電事業者に公立学校等の屋根を貸し出し、太陽光発電設備の普及促進と維持管理費用の抑制を図るべき。

**答** 建物の構造や施設の運用上の課題もあるが、区内施設の調査を進め、課題の克服と導入に向けた検討をしたい。猛暑対策・熱中症対策として、ミストシャワーを導入し、保育所・幼稚園・小学校に順次拡大していくべき。

**問** 設置方法、安全性等の課題も考えられるので、いくつかの保育所で試験的に導入し、その効果を十分検証したい。



## すみだ北斎美術館の建設は中止し、暮らし優先の施策の充実を



日本共産党  
高柳 東彦

**問** ①区民生活が一層深刻になる中で、新年度予算案では貧困対策や暮らしを直接応援する施策がほとんど見られない。特に、北斎美術館の建設は引き続き区民の理解が得られておらず、また区財政の大きな負担になり他の区民施策に影響を与えることが明らかである。北斎美術館建設はきっぱりと中止するよう改めて要求する。②特別養護老人ホームの整備計画は待機者に見合った増設計画になっていない上、その不十分な計画さえ遅れているのが実態である。区による直接建設も含めて、実態に合った計画に改定して早急に整備することが必要不可欠である。介護保険料も別途、負担軽減策を実施すべきである。③国民健康保険料は毎年値上げされ区民生活を圧迫しているが、先日開かれた区長会では来年度も値上げする案を確認したと聞いている。これ以上の負担増は絶対に認められない。値上げ案を撤回するか、区独自の負担軽減策の実施を強く求める。

**答** ①北斎美術館の建設については、区民の理解を得るため、今年度は区のお知らせ等での特集などに加え、ホームページによる情報発信にも努めており、区民の理解も徐々に高まってきていると認識している。来年度予算案では、区民福祉の向上や防災対策の充実など区民生活に直結する分野に財源の重

点配分を行い、十分に意を用いた。②特別養護老人ホームの待機者対策は区政の重要な課題の1つと認識しており、平成25年度予算には旧木下川小学校跡地を活用した施設整備経費を計上した。また、施設整備による介護保険料への影響については、高齢者の実態を十分に踏まえながら第6期介護保険事業計画を策定する。③国民健康保険料の値上がり率が区民負担の増大につながっていることは十分認識しているが、制度の安定的な運営のための改定であり理解願いたい。また、特別区の国民健康保険料は統一保険料方式を採用しており、区単独での軽減策は困難である。

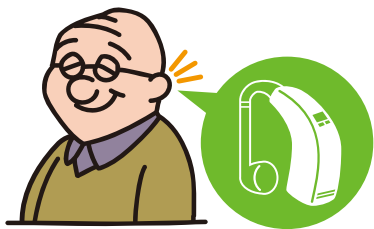
●難聴者への支援を強化するため、区内施設に磁気ループの配備を

**問** ①国や自治体による難聴者への支援は極めて不十分である。磁気ループの配備を公共の場に広げるとともに、区民への貸出サービスの実施が求められる。また、携帯用磁気ループの貸出しや家庭における普及の支援策も必要である。②区では、身体障害者手帳の交付対象となる重度の難聴者には補聴器の購入費補助を行っているが、補聴器はできるだけ早い時期から使うのが効果的である。中・軽度の高齢者や子どもを対象にした助成制度を創設してほしい。

点配分を行い、十分に意を用いた。②特別養護老人ホームの待機者対策は区政の重要な課題の1つと認識しており、平成25年度予算には旧木下川小学校跡地を活用した施設整備経費を計上した。また、施設整備による介護保険料への影響については、高齢者の実態を十分に踏まえながら第6期介護保険事業計画を策定する。③国民健康保険料の値上がり率が区民負担の増大につながっていることは十分認識しているが、制度の安定的な運営のための改定であり理解願いたい。また、特別区の国民健康保険料は統一保険料方式を採用しており、区単独での軽減策は困難である。

**答**

①東京都福祉のまちづくり条例に基づき、本区でも新規施設建設の際に磁気ループなどの集団補聴設備の設置を推進している。また、携帯用磁気ループの貸出サービスは、障害者団体等の要望も踏まえ検討したい。②身体障害者手帳の認定基準に該当しない高齢者や難聴児に対して、独自の取組を実施している自治体もあると聞いている。都が25年度の新規事業として中等度難聴児に対する補助事業を予定しているの、ここから対応を図っていききたい。



●押上通りの道路拡幅事業は、区も積極的に関わっていくべき

**問**

押上通りの拡幅は、都が2015年度までに優先的に整備する路線として選定したが、区も災害対策や商店街の再生、地域コミュニティなどのまちづくりに積極的に関わっていく必要がある。第1に、住民合意を大前提に、相談窓口の設置など安心して暮らせる支援を行うことが求められる。第2に、まちづくりへの支援として、延焼遮断帯の内側に残された木造住宅の不燃化や耐震化を進めるとともに、公園や広場などの空間をつくる必要がある。

**答**

事業者である都が、全関係権利者に対して意向調査を実施するほか、相談窓口を設置し、生活再建策の提案等を

## 区の最重要施策である子ども・子育て支援施策の充実を



すみだの絆  
西村 孝幸

**問** ①区保育所整備指針には、区内をいくつかのエリアに分け、その中の区立保育園を基幹園として地域の子ども・子育てを支援していく体制を構築することが示されている。基幹園の園長やリーダー層の方には、広く高度なマネジメント技術が必要となる。教育研修の場を設けるなどの対応を検討してほしい。②昨今、保護者の就業形態等も変化し、保育のニーズ(需要)も多様化している。一時保育、定期利用保育、休日保育等のニーズを調べ、保育所整備計画に反映してほしい。平成25年度から子育て支援総合センターが休日開館すると聞いている。保育園も土日の活用方法の拡充を行うことになっている。区としては建替えが始まるまでに、押上通りに延焼遮断帯を形成するため、道路全区間に不燃化促進事業を導入することとしている。災害対策、生活再建、地域コミュニティの形成や公園・広場の整備等を含めて関係権利者等の意見・要望を幅広く聞き、都と緊密に連携して十分な対応を図っていききたい。

**問** 区民の認知症患者の実態把握に努め、総合的な計画をつくるべきではないか。

**答** 国の「認知症施策推進5か年計画」等を踏まえ、福祉・介護・医療との連携体制の構築に努める。

らかにすることは困難であるが、一刻も早い移管が必要であり、精力的に進めていきたい。

●産業振興の理念、人と人をつなぐ人材の育成について問う

**問**

①現在策定中の「産業振興マスタープラン」に期待している。長引く不況の中、中小零細企業の多い本区は特に影響が大きい。民業に対する行政の役割はどうあるべきと考え、策定に当たっては計画を貫く理念をどう位置付けたのか。②「フロンティアすみだ塾」などの人と人をつなぐ事業は、参加する人の輪を広く普及させていく段階にきている。多くの人に情報を伝え、参加してもらい、これらの「輪」のすそ野を広げる取組が必要である。これまでの成果と今後の課題を伺う。

**答**

①区内で事業活動をすることに、いかにメリットと意義を感じてもらえるかを重視したい。工業・商業・観光といった垣根を取り払い、結び付けていく役割の一端を行政が担い、成功事例を1つでも多く輩出することが必要である。②後継者育成を目指す取組である「フロンティアすみだ塾」の卒業生が区の産業振興事業に積極的に関与するほか、事業者同士のプロジェクトも自発的に起こっている。若い後継者がモチベーション(やる気)を維持するための支援等が課題である。

●夜間も使えるAEDの設置や防災訓練計画作成への支援を

**問**

①夜間にAEDを使用できる場所は、区内では駅や警察、消防署等ごくわずかである。24時間利用可能なAEDの設置を民間と協力して進めて

ほしい。②町会・自治会が防災訓練をする場合に参考になる防災訓練ガイドのようなものを、区は用意していない。区内でも各地域によって事情は違い、訓練すべき内容が違う。また、地域によって防災意識にも差がある。防災知識を有する人材を防災訓練アドバイザーとして起用し、各地域に合った防災訓練計画の立案を支援してほしい。

**答**

①人の生命の問題でもあることから、単純に費用対効果と言えないところもある中で、「安全で安心して暮らせるまちづくり」に関わる施策全体の中での検討課題の1つとして今後検討したい。②町会・自治会の防災訓練の実施に当たっては、消防署の専門職員が訓練メニューや技術面の助言・指導を直接行い、区も先進的な事例の紹介を行うなどの支援を行っている。地域の実情に詳しい消防署の協力を得るのが一番いいのではないかと考えている。



### 幹事長の変更

4月1日付けで、地域連合「すみだの絆」の幹事長が、田中哲議員から細田一夫議員に変更となりました。

### 議員の連絡先の変更

加納進議員の電話番号が変更になりました。

### 【新電話番号】

△362316004



一般質問

ハブ\*ステーション錦糸町の再生とすみだの発展について



自由民主党 林 恒雄

**問** 錦糸町地方場外馬券発売所の設置については、平成11年に陳情が提出されて以来、区議会でも慎重かつ精力的な議論を行い、最終的に「ただちに発売所を設置することは困難である」との判断に至った案件である。この問題を議論する中で「錦糸町南口を考える会」が発足し、同会が主体となり地域活性化に向けたまちづくりの研究・検討が行われてきたものと認識するが、防犯対策以外で具体的に同会から提案や陳情などがなされたか伺う。

**答** 錦糸町南口を考える会は、地域の環境浄化を大きな柱として、具体的には地域の防犯パトロールや清掃活動、防犯カメラの設置など、多方面にわたる活動をされている。防犯対策以外のまちづくりの提案・陳情については、錦糸町南口広場や自転車駐車場整備における施設配置計画や江東橋地域全体の街路灯の設置、国道14号の横断歩道橋のエスカレーター設置等について様々な意見があり、それを反映してきた。

**問** 錦糸町が観光客の回遊起点となるような、戦略的なまちづくりが求められている。環境を向上させ、交通ターミナル機能を生かした街の魅力を発信していきたい。

**答** 錦糸町のまちづくりに、柔軟な発想を持つ若手を起用していくべきである。若い担い手の動きを活用することは有効であり、側面的に支援していきたい。

国の緊急経済対策に伴う予算は、区内産業の活性化に充てよ



墨田オンブズマン 大瀬 康介

**問** ①本区の商店街を取り巻く環境は、極めて厳しい状況である。商店街再生のために、国の緊急経済対策に伴う「地域の元氣臨時交付金」を有効に使うべきである。②今回の補正予算案では、すみだ北斎美術館の開設に関わる予算が計上されているが、北斎美術館の建設により、区内の新たな民間投資がどの程度増えるか予想しているか。③長引くデフレ脱却のためには、政府の財政出動だけでは限界がある。現在、使われずにいる企業や個人の預金を区内の投資に回すための起爆剤として、補正予算を活用する必要がある。本区の経済再生のために、どのような成長戦略を持っているか、区長の見解を伺う。

**答** ①国の緊急経済対策による補助金は、25年度に予定していた防災・福祉・まちづくりなどの事業のうち、国の示した要件に合致する12事業に充たし、24年度の補正予算に計上した。②北斎美術館の建設及び運営に伴う経済波及効果は、現在推計作業を進めているところである。区が所蔵する北斎の作品画像を区内企業中心に貸し出し、グッズの開発などにより、ものづくり産業の活性化を図っていきたい。③中小零細事業所の業績の回復のため、区内事業所の技術力の高さと魅力を強くアピールし、販路の拡張を図ることが重要であると考えている。将来的な経済成長戦略は、現在策定中の「産業振興マスタープラン」の中で示していきたい。

スカイツリー周辺道路・河川敷にオーブンカフェを



自民党 佐藤 篤

**問** 都市再生特別措置法の改正により、まちのにぎわい創出に資する道路占用、河川占用の特例制度が創設された。この制度を利用し、東京スカイツリー南側の墨127号路線の歩道、おしなり公園や吾妻橋防災船着場付近の河川敷で、区内商店街の加盟店が共同でオーブンカフェや物品販売を行う事業を検討してはどうか。区の区内回遊性向上等の施策がなかなか前進していないのも事実なので、スカイツリー付近や観光客の動線上に店をもつてくるという逆転の発想もよいのではないか。

**答** 例えば道路占用許可の特例を適用し、道路空間を活用してまちのにぎわいを創出していくためには、都市再生整備計画の中に位置付けた上で、東京都公安委員会や所轄警察署等と協議をする必要がある。商業活性化に加え観光という観点からも、同制度の適用については地域や商業を営んでいる方々及び関係機関と協議し、提案のあった場所も含めて、その実現に向けて前向きに検討したい。

**問** 大学等と連携し、生活保護世帯の児童・生徒へ学習ボランティアを派遣しては。対象者や支援体制の検討をしたい。その際は、早稲田大学とも意見交換をしたい。

**答** 生活保護基準引下げに伴う就学援助への影響について、具体的に試算すべき。積極的な情報収集に努めた上で、どのような影響が生じるか調査・分析したい。

子宮頸がん検診におけるHPV検査と細胞診の併用を



民主クラブ あべ きみこ

**問** ①HPV検査は、子宮頸がんの前段階での早期発見がしやすく、3年ごとの実施でよいというメリットがある。現在行っている細胞診とHPV検査を併用することで、受診率の向上や経費の削減などの成果を上げている自治体もある。墨田区もいち早く実施すべきである。②受診率の向上に向けて、子どもが子宮頸がんワクチンの接種を受けるときに、同伴している母親に同時に子宮頸がん検診の啓発をするような取組を進めるべきである。

**答** ①国の平成25年度予算案では、細胞診とHPV検査との併用検診についての効果検証のための補助金が盛り込まれたようなので、国の子宮がん検診に係る検討状況を見て導入の是非を判断したい。②現在、区では子宮頸がんワクチンの接種記録票を送付する際に、子宮がん検診の案内を同封し、保護者への働きかけを行っている。今後提案を踏まえて、保護者も含め子宮がん検診未受診者への意識啓発を強化したい。

**問** ワークライフバランスについて、その手法を区内企業にアドバイスするサービスを実施するとともに、企業の認定制度を導入し、働きやすい企業を増やすことを提案する。

**答** 既存の制度を活用し、企業の要望に応じたアドバイザーを派遣したい。また、先進事例の調査や有効なインセンティブの手法を検討し、働きやすい企業を増やす努力をしたい。

ペーパーレス化に向けて更なる取組を



みんなの党 しもむら 緑

**問** ①区では内部資料など、いまだに膨大な量の紙が消費されている。歳出が膨張していく中、大きく削れる余地があるとすれば、この部分ではないか。イントラネット再構築を大きな転換と捉え、阻害要因のないものについてはすべてペーパーレス化する検討をしてほしい。②タブレット型端末の導入により、経費の削減や業務の効率化を図っている企業が多くある。区も導入してはどうか。

**答** ①区では平成14年度以降より文書の電子化を進めてきたが、十分なペーパーレス化が進んでいない。そこで、来年度から取り組むイントラネット再構築の中では、聖域なきペーパーレス化を基本方針に掲げ、職員の意識改革を図りたい。具体的には、文書による起案・決裁を電子化したり、会議資料なども極力電子化を進めることを検討したい。②タブレット端末の導入も今後の検討課題としたい。

**問** 区は第二保養所を建設するという名目で高萩高原の土地を購入したが、実現せず未利用地となっている。有償貸付などの活用方法を検討すべきである。今後、公共施設白書を活用した施設の再編など、更なる行財政改革の推進も期待する。

**答** 本用地は郊外保養所の建設用地として取得したが、その後の社会経済の変化等により整備を見送っている。現在策定中の公共施設白書を踏まえて、早期に結論を出していきたい。

北朝鮮の核実験に抗議する決議(要旨)

北朝鮮は、国連決議や日朝平壤宣言等に違反して、2月12日、3回目の核実験を強行した。

これは、我が国の安全のみならず、北東アジアと世界の平和を脅かす挑発的行為であり、唯一の被爆国として断じて容認できるものではない。北朝鮮の核問題は、平和的、外交的に解決するとの広く認めら

められた原則に基づき、国際社会が一致した対応をとることが何よりも重要であると同時に、実効性のある制裁が求められている。よって、墨田区議会は、北朝鮮の核実験に断固として抗議するとともに、すべての核開発を即時中止するよう強く求めるものである。

意見書(要旨)

軽度外傷性脳損傷に関わる労災障害等級認定基準の見直し等に関する意見書

墨田区議会は国会及び政府に対し、軽度外傷性脳損傷患者の救済のため、次の事項を実現するよう強く要望します。

1 軽度外傷性脳損傷と診断され働けない場合には、労災の障害(補償)年金が支給できるよう、労災障害等級認定基準の見直しをすること。

2 軽度外傷性脳損傷について、教育機関への啓発・周知を図ること。

認知症で入院する人が増えています。認知症は、初期からの適切なケアがあれば多くの方が在宅で暮らすことができるかとされていることから、本人や家族をきめ細かく支援する体制づくりが急がれます。

よって墨田区議会は政府に対し、認知症患者を総合的に支援するとともに、施策の実施主体である自治体への人的・財政的補償の強化を強く要望します。

| 会議日程(会期43日間)              |         |                          |
|---------------------------|---------|--------------------------|
| 第1回定例会中に開かれた主な会議は次のとおりです。 |         |                          |
| 2月14日                     | 本会議     | 施政方針説明(区長)               |
| 20日                       | 議会運営委員会 | 本会議の議事運営                 |
| 21日                       | 本会議     | 代表質問                     |
| 22日                       | 本会議     | 代表質問／一般質問                |
| 25日                       | 本会議     | 一般質問<br>提出議案の説明<br>議案の議決 |
|                           | 企画総務委員会 | 付託議案の審査                  |
|                           | 議会運営委員会 | 本会議の議事運営                 |
|                           | 予算特別委員会 | 正副委員長の互選                 |
| 27日～3月12日                 | 予算特別委員会 | 付託議案の審査                  |
| 13日                       | 区民文教委員会 | 付託議案の審査等                 |
| 14日                       | 福祉保健委員会 | 付託議案の審査等                 |
| 21日                       | 産業都市委員会 | 付託議案の審査等                 |
| 22日                       | 企画総務委員会 | 付託議案の審査等                 |
| 27日                       | 議会運営委員会 | 本会議の議事運営                 |
| 28日                       | 本会議     | 議案の議決等<br>提出議案の説明        |
|                           | 区民文教委員会 | 付託議案の審査                  |
|                           | 企画総務委員会 | 付託議案の審査                  |
|                           | 議会運営委員会 | 本会議の議事運営                 |